

と し さ い せ い せ い び け い か く 事後評価シート(原案)
都市再生整備計画

き た な ら し の え き し ゅ う へ ん ち く
北習志野駅周辺地区

平成23年11月

ち ば け ん ふ な ば し し
千葉県船橋市

※記入にあたっての留意事項(このページは、提出の際には添付する必要はありません。)

本様式の記入にあたって、下記の点に留意してください。

1. モニタリング(一部の結果)・事後評価・フォローアップの3段階について、記入欄を色分けで区分しています。それぞれの結果を該当欄に記入してください。

段 階	内 容	時 期	記入欄の 色分け
《第一段階》モニタリング	事業期間中に、実施状況、数値目標の達成状況、効果発現の状況を確認する	交付期間中の 任意の時期	
《第二段階》事後評価	評価項目の計測（見込みの値でも可）、効果発現に関わる要因、今後のまちづくり方策等を整理する	最終年度	
《第三段階》フォローアップ	事後評価時に「見込みの値」としたものに対して、事業終了後に、確定した数値で再度整理する	原則、交付終了の翌年度	

2. 記入項目の詳細や記入例については「事後評価シート作成の手引き」を参照してください。
3. 記入欄が不足する場合には、適宜、欄(枠)を拡張するなどして記入して下さい。
4. 国への提出後、必要に応じて再提出等のために修正を行う場合は、従前の記載内容は削除せず、消し線を用いて下さい

例1)数値等の軽微な修正

【修正前】 ○○整備事業 面積 2,300㎡

【修正後】 2,800㎡

例2)文章の修正

【修正前】 ……するものとし、特に、●●館のイベント等に関する情報を発信していくものとする。

【修正後】 特に、●●館のイベント等に関する最新情報をリアルタイムでHP上から提供していくものとする。

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	船橋市	地区名	北習志野駅周辺地区			面積	410ha				
交付期間	平成19年度～23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	4,007百万円	国費率	0.406						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(3・4・25号線(宮本・古和釜町線)、市道00－020号線)、公園(松が丘4丁目みどり公園)、地域生活基盤施設(高根公園駅自転車等駐車場)、高質空間形成施設(街路樹整備・北習志野近隣公園防犯対策)、高次都市施設(北習志野駅ペDESTリアンデッキA・C)										
		提案事業	地域創造支援事業(北習志野駅ペDESTリアンデッキB)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(市道58148・58163号線)		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	なし		－		－						
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(坪井公民館)		地域の人々が集うにぎわいと交流のある拠点整備を図り、地区内の回遊性等をより高めるために、この事業を新たに追加した。		指標2「3駅乗客数」に影響するが、数値目標は据え置き、新たな小目標及び指標を追加し、目標をより分かり易いものとした。						
		提案事業	なし		－		－						
	交付期間の変更	当初	平成19年度～23年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		－							
	変更	－											
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
								モニタリング	評価値	達成度			
指標1		交通事故件数	件/年	10	H17	7	H23		1	○	あり なし	3・4・25号線は整備が完了していないが、連続した歩行空間の確保や交差点改良が完了したことにより、対象区間での交通事故件数が大幅に減少した。	平成26年6月
指標2		3駅乗客数	人/日	50,034	H16	51,000	H23	53,061	54,565	○	あり なし	ペDESTリアンデッキ及び駅舎の整備による駅の利便性向上や、駅周辺の歩行環境(安全性・快適性)の向上を図ったこと、関連事業である土地区画整理事業による居住者の増加等により、駅の利用者数が大幅に増加した。	平成26年7月
指標3		放置自転車台数	台/日	200	H17	100	H23		33	○	あり なし	放置禁止区域の設定や放置自転車の監視強化等により、放置自転車数が減少しており、今後、自転車等駐車場が整備されることにより、放置自転車がさらに減少することが予想される。	平成25年2月
指標4		船橋市坪井公民館来館者数	人/年	41,000	H20	64,000	H23		68,742	○	あり なし	土地区画整理事業により人口が増加している坪井地区において、新たなコミュニティ活動の場となる公民館が新設されたことにより、利用者の利便性等が向上し、公民館を利用する人が増加した。	平成25年6月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況		指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		その他の数値指標1						モニタリング	評価値	達成度※1			
4)定性的な効果発現状況	駅改札、商業ビル、商店街が屋根のあるペDESTリアンデッキで接続され、利便性・快適性の高い歩行空間が創出されたことにより、にぎわいが生まれつつある。												
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング	市統計資料等によるモニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	モニタリング同様に毎年度の本市統計書により事業の効果を確認する。				
	住民参加プロセス	都市計画道路3・4・25号線の整備に関する事業説明会			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	今後も、積極的に市民の意見を聞いて、事業に活かす。				
	持続的なまちづくり体制の構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

北習志野駅周辺地区(千葉県船橋市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
交通が便利で楽しくショッピングができる住宅地の創出 目標1: 歩行者・自転車利用者が安全かつ快適に利用できる施設の整備 目標2: 地域の人々が集うにぎわいと交流のある拠点の整備	交通事故件数	単位: 件／年	10 H17	7.0 H23	1 H23
	3駅乗客数	単位: 人／日	50,034 H16	51,000 H23	54,565 H23
	放置自転車台数	単位: 台／日	200 H17	100 H23	33 H23
	船橋市坪井公民館来館者数	単位: 人／年	41,000 H20	64,000 H23	68,742 H23

■基幹事業
公園(松が丘4丁目みどり公園)

■基幹事業
街路(3・4・25号線)

○関連事業
あんしん歩行エリア形成事業

■基幹事業
地域生活基盤(高根公団駅自転車等駐車場)

□提案事業
北習志野駅ペDESTリアンデッキB

■基幹事業
高次都市施設
(北習志野駅ペDESTリアンデッキA・C)

○関連事業
北習志野駅駅舎改修事業

○関連事業
交通バリアフリー道路特定事業

■基幹事業
高質空間形成施設(北習志野近隣公園防犯対策)

■基幹事業
道路(市道00-020号線)

■基幹事業
高質空間形成施設(街路樹整備)

■基幹事業
地域生活基盤(船橋市坪井公民館)

○関連事業
坪井特定土地区画整理事業

高根公団駅

高根木戸駅

船橋日大前駅

東葉高速線

北習志野駅

新京成線

400m

まちの課題の変化	- 北習志野駅のペDESTリアンデッキの整備や駅舎の改築等により、商業施設へのアクセスや乗り換えの利便性が向上するとともに、エレベーター等の歩行者支援施設が設置され、歩行者の安全性・快適性が向上した。 - 街路樹の整備により、歩行者等の快適性が向上した。 - 高根公団駅自転車等駐車場の整備により、放置自転車が減少し、歩道上の暫定駐輪場が廃止されたことにより、快適な歩行空間が確保された。 - 交流拠点となる坪井公民館や歩行者等の休息空間となる松が丘4丁目みどり公園の整備と合わせた、夜間の歩行者の安全性を向上する防犯対策等により、歩行者等の回遊性が向上した。 - 都市計画道路3・4・25号線と市道00-020号線の歩道整備や交差点改良等により歩行者等の安全性・快適性が向上した。 - 一方では、新たな住宅地が形成され、周辺部における交通量が増加していることから、今後は歩行者等の安全性や快適性を更に向上するために、歩道未整備区間や、都市計画道路の整備が急務となっている。 - 目標値は達成できたが、都市計画道路の早急な整備等、引き続き住宅地としての質を向上させる施策が必要となる。
----------	--

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	- 駅へアクセスする歩道等を整備し歩行者や自転車利用者の安全性や快適性を高めると共に交通の円滑な処理を図る。 - 新たに整備された公民館については、様々なイベントを実施し、公民館の認知度向上を図ることで地域の人々の交流を促進する。
-------------------------	--

都市再生整備計画 事後評価シート(原案) (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3－① モニタリングの実施状況
- 添付様式3－② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- ~~添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理~~

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5－① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5－② まちの課題の変化
- 添付様式5－③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5－④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6－参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- ~~添付様式9 有識者からの意見聴取~~

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更	変更前	変更後	変更理由
	あり なし			
A. まちづくりの目標	●	—	「目標2: 地域の人々が集うにぎわいと交流のある拠点の整備」を追加	大目標を補完する小目標として「地域の人々が集うにぎわいと交流のある拠点の整備」を新たに追加することにより、目標をより分かり易いものとした。
B. 目標を定量化する指標	●	—	「坪井公民館来館者数 人／年 従前値41,000(H20) 目標値64,000(H23)」を追加	新たに追加された目標に対する目標を定量化する指標を追加することにより、目標の達成状況を分かり易いものとした。
C. 目標値	●	—	—	—
D. その他()	●	—	—	—

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路(街路)	3・4・25号線(宮本・古和釜町線)	3,053	延長＝900m	2,092	延長＝902m	用地交渉等に時間を要するため、第2期計画に一部の事業を先送りとした。	指標1「交通事故件数」・指標2「3駅乗客数」に影響するが、連続した歩行空間の確保や交差点改良が完了しており、指標の改善が期待できるので、数値目標は据え置く。		●
道路	市道58148・58163号線	39	延長＝480m	0	延長＝0m	この事業については、平成18年度に隣接する都市計画道路の開通に伴い通過交通量が增大するものと考え、計画されていたが、平成19年度に交通量調査を実施したところ、大幅に減少したことから費用対効果を勘案し取り止めとした。	影響なし。	－	－
道路	市道00－020号線	60	延長＝600m	275	延長＝640m	歩行者・自転車利用者の安全性や快適性を高めるため、整備区間を延伸し、交差点改良を追加したが、その後、用地交渉等に時間を要するため、第2期計画に一部の事業を先送りした。	指標2「3駅乗客数」に影響するが、歩道の移動円滑化が完了しており、指標の改善が期待できるので、数値目標は据え置く。		●
公園	松が丘4丁目みどり公園	115	面積＝1,400㎡	113	面積＝1,352.6㎡	－	－	●	
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域生活基盤 施設	高根公団駅自転車等駐車場	450	自転車等駐車場 2,100台	452.8	自転車等駐車場 2,100台	-	影響なし		●
	坪井公民館	-	なし	491.5	公民館 延床面積＝1,899㎡	平成20年度「まちづくり交付金要綱」の変更に伴い、防災対象事業に該当することから、地域生活基盤施設に移行した。	影響なし	●	
高質空間形成 施設	街路樹整備	43	6路線	39	11路線	歩行者・自転車利用者の安全性や快適性をより高めるために街路樹整備の路線を増やした。 その後、事業費の精査により減額した。	指標2「3駅乗客数」に関係するが、数値目標は据え置く。	●	
	北習志野近隣公園防犯対策	10	照明灯＝24基	10	照明灯＝33基	-	-	●	
高次都市施設	北習志野駅ペDESTリアンデッキA・C	281	延長＝126.5m	503.4	延長＝124.4m	歩行者の安全性や快適性をより高めるために、屋根を設置することとし、事業費を増額した。	指標2「3駅乗客数」に関係するが、数値目標は据え置く。		●
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	北習志野駅ペDESTリアンデッキB	33	延長＝46.8m	30.6	延長＝46.8m	－	－	●	
	坪井公民館	0	－	0	－	地域の人々が集うにぎわいと交流のある拠点整備を図り、地区内の回遊性等をより高めるために、坪井公民館整備事業を新たに追加した。 その後、平成20年度「まちづくり交付金要綱」の変更に伴い、防災対象事業に該当することから、地域生活基盤施設に移行した。	指標2「3駅乗客数」に影響するが、数値目標は据え置き、新たな小目標及び指標を追加し、目標をより分かり易いものとした。	－	－
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業 細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
		当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
あんしん歩行エリア形成事業	習志野台地区	52	52	平成17年－平成19年	平成17年－平成19年	計画通りに完成	－
交通バリアフリー道路特定事業	北習志野駅周辺地区	214	－	平成17年－平成22年	平成17年－平成22年	概ね計画通りに完成	－
北習志野駅駅舎改修事業	北習志野駅	1,041	－	平成19年－平成20年	－	計画通りに完成	－
坪井特定土地区画整理事業	坪井地区	0	15,000	－	平成9年－平成22年	計画通りに完成	－

添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
															あり	なし
指標1	交通事故件数	件/年	船橋東警察署に交通事故発生件数の聞き取り調査を行い、平成22年度までの実績値により都市計画道路3・4・25号線における交通事故発生件数を推計し評価値とする。	—	—	10	H17	7	H23	モニタリング			モニタリング		—	—
										事後評価	確定 見込み	●	1	事後評価	○	
指標2	3駅乗客数	人/日	新京成電鉄及び東葉高速鉄道に聞き取り調査を行い、平成22年度までの実績値により平成23年度の北習志野駅・船橋日大前駅・高根公団駅1日平均乗車人員を推計し評価値とする。	52,995	H9	50,034	H16	51,000	H23	モニタリング			モニタリング		—	—
										事後評価	確定 見込み	●	54,565	事後評価	○	
指標3	放置自転車台数	台/日	船橋市が実施した放置自転車調査結果に基づき、平成22年度までの実績値により平成23年度の高根公団駅周辺の放置自転車台数を推計し評価値とする。	528	H9	200	H17	100	H23	モニタリング			モニタリング		—	—
										事後評価	確定 見込み	●	33	事後評価	○	
指標4	船橋市坪井公民館来館者数	人/年	社会教育課が集計した公民館の来館者数に基づき、平成23年4月から6月までの坪井公民館来館者数の実測値に、これをベースに平成22年度の対象地区公民館利用者数から推計した平成23年7月から平成24年3月の来館者数を加え評価値とする。	—	—	41,000	H20	64,000	H23	モニタリング			モニタリング		—	—
										事後評価	確定 見込み	●	68,742	事後評価	○	

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	平成18年までは、増減を繰り返していたが、歩行空間が確保され始めた平成19年からは、毎年連続して減少値を保っているため、目標値達成見込みとした。	
指標2	平成19年に目標値を達成しているが、これは、この年に開催されたイベントが主な要因となる、一時的な特異値と推測される。その後は完成した各種事業の相乗効果で増加傾向に推移しているため目標達成見込みとした。	
指標3	平成22年度の平均放置自転車台数は51台/日と、既に目標を大幅に超え達成しているが、これは、放置禁止区域の設定や放置自転車の監視強化等により、放置自転車数が減少していることや、団地建て替えによる人口の一時的な減少によるところが大きいと推測される。 一方、将来における自転車利用者数は、建て替えの完成に伴い増加が見込まれるところであるが、この自転車等駐車場の収容台数は、将来需要台数等を見込んでいることから目標達成見込みとした。	
指標4	平成23年2月20日の開館直後は3月11日の東日本大震災の影響によるコミュニティ活動の自粛や、すでに既存公民館を予約している利用者(3か月先まで予約可能)の移行に期間を要するため、利用が伸び悩んでいたが、開館から4か月が経過した6月に利用者が大幅に増加していることから、その後の月変動も考慮し目標達成見込みとした。	評価年の3月11日に発生した東日本大震災の影響により公民館活動が自粛された可能性があり、事業の効果が過小評価されている可能性がある。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。
※2 目標達成度の記入方法
○:評価値が目標値を上回った場合
△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2ー② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標		データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)	数値(ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
	単位		基準 年度	基準 年度				
その他の 数値指標1					モニタリング			
					事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標2					モニタリング			
					事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標3					モニタリング			
					事後評価	確定 見込み		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2ー参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

駅改札、商業ビル、商店街が屋根のあるベデストリアンデッキで接続され、利便性・快適性の高い歩行空間が創出されたことにより、にぎわいが生まれつつある。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3ー① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
市統計資料等によるモニタリング	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 【実施頻度】交付期間中間年度に(1回) 【実施時期】平成21年7月 【実施結果】現状で数値が確認できる指標について交付期間中の変化を確認することができた。	モニタリング同様に毎年度の本市統計書により事業の効果を確認する。

添付様式3ー② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
都市計画道路3・4・25号線の整備に関する事業説明会	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 【実施頻度】5回 【実施時期】平成18年度 【実施結果】事業進捗に合わせて事業区間沿線の地権者及び権利者等との意見交換を実施したことにより、事業への理解が深まった。	今後も、積極的に市民の意見を聞いて、事業に活かす。

添付様式3ー③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織（都市再生整備計画事業事後評価庁内検討会議）	関係各課（道路建設課、街路課、交通安全課、都市整備課、みどり管理課、みどり推進課、社会教育課、文化課）	平成23年9月1日（全1回）	都市計画部都市総務課（都市再生整備計画事業主管課）

添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3		指標4	
指 標 名		交通事故件数		3駅乗客数		放置自転車台数		船橋市坪井公民館来館者数	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路（街路） 3・4・25号線（宮本・古和釜町線）	◎	3・4・25号線は整備が完了していないが、連続した歩行空間の確保や交差点改良が完了したことにより、対象区間での交通事故件数が大幅に減少した。	◎	ペデストリアンデッキ及び駅舎の整備による駅の利便性向上や、駅周辺の歩行環境（安全性・快適性）の向上を図ったこと、関連事業である土地区画整理事業による居住者の増加等により、駅の利用者数が大幅に増加した。	—	放置禁止区域の設定や放置自転車の監視強化等により、放置自転車数が減少しており、今後、自転車等駐車が整備されることにより、放置自転車がさらに減少することが予想される。	○	土地区画整理事業により人口が増加している坪井地区において、新たなコミュニティ活動の場となる公民館が新設されたことにより、利用者の利便性等が向上し、公民館を利用する人が増加した。
	道路 市道00－020号線	○		◎		—		○	
	公園 松が丘4丁目みどり公園	—		◎		—		○	
	地域生活基盤施設 高根公園駅自転車等駐車場	—		◎		◎		○	
	地域生活基盤施設 坪井公民館	—		◎		—		◎	
	高質空間形成施設 街路樹整備	○		◎		—		○	
	高質空間形成施設 北習志野近隣公園防犯対策	○		◎		—		○	
提案事業	高次都市施設 ペデストリアンデッキA・C	○		◎		—		○	
提案事業	北習志野駅ペデストリアンデッキB	○		◎		—		○	
関連事業	あんしん歩行エリア形成事業	○		◎		—		○	
	交通バリアフリー道路特定事業	○		◎		—		○	
	北習志野駅駅舎改修事業	○		◎		—		○	
	坪井特定土地区画整理事業	○		◎		—		○	

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
—：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も歩道未整備区間の整備を推進する。	目標値は達成できたが、都市計画道路の早急な整備等、引き続き住宅地としての質を向上させる施策が必要となる。	今後も放置自転車の監視等を実施し、放置自転車対策を推進していく。	地域のコミュニティ活動の拠点として、今後も利用促進を図る。
-------	---------------------	--	----------------------------------	-------------------------------

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(都市再生整備計画事業事後評価 庁内検討会議)	関係各課(道路建設課、街路課、交通安全 課、都市整備課、みどり管理課、みどり推進 課、社会教育課、文化課)	平成23年9月1日(全1回)	都市計画部都市総務課(都市再生整備計画事業主管課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
駅利用者や商店街利用者等 の快適性の向上や安全性の 確保	・北習志野駅のペDESTリアンデッキの整備や駅舎の改 築等により、商業施設へのアクセスや乗り換えの利便性 が向上するとともに、エレベーター等の歩行者支援施設 が設置され、歩行者の安全性・快適性が向上した。 ・街路樹の整備により、歩行者等の快適性が向上した。 ・高根公団駅自転車等駐車場の整備により、放置自転 車が減少し、歩道上の暫定駐輪場が廃止されたことに より、快適な歩行空間が確保された。 ・都市計画道路3・4・25号線の歩道の一部供用開始と 交差点改良により、歩行者等の安全性・快適性が向上 した。 ・市道00-020号線の歩道の移動円滑化と交差点改良 により、歩行者等の安全性・快適性が向上した。	都市計画道路3・4・25号線・市道00-020号線の未整備区 間の早期整備により、さらなる安全性・快適性の向上を図る必 要がある。	坪井地区の区画整理事業により、新たな住宅地が形成さ れ、周辺部における交通量が増加したことから、都市計画道 路の整備が急務となっている。
駅利用者や商店街利用者等 の回遊性の向上	交流拠点となる坪井公民館や歩行者等の休息空間とな る松が丘4丁目みどり公園の整備と合わせた、夜間の 歩行者の安全性を向上する防犯対策等により、歩行者 等の回遊性が向上した。	—	
交通が便利で楽しくショッピン グができる住宅地の創出(住 宅地の質の向上)	上記事業等による改善効果により乗客数が増加し、に ぎわいと交流のあるまちが創出されつつある。	目標値は達成できたが、都市計画道路の早急な整備等、引き 続き住宅地としての質を向上させる施策が必要となる。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5ー③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	自転車利用マナーの向上	快適な歩行空間を確保するために、放置自転車の削減を進める。	放置自転車撤去、自転車利用者への街頭指導
	整備された施設の適正な維持管理	整備された施設については、適正な維持管理を行う。特に官民連携により整備されたペDESTリアンデッキについては、官民の役割分担により、適切な維持管理を行い質の高い歩行空間を維持し、利便性や快適性を持続する。	ペDESTリアンデッキの維持管理協定
	坪井公民館の利用促進	様々なイベントを実施し、公民館の認知度向上を図ることで地域の人々の交流を促進する。	公民館事業(イベント)の実施 広報活動

B欄 改 善 策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	歩行者・自転車利用者が安全かつ快適に利用できる施設の整備	駅へアクセスする歩道等を整備し歩行者や自転車利用者の安全性や快適性を高めると共に交通の円滑な処理を図る。	3・4・25号線(宮本・古和釜町線)・3・4・20号線(印内習志野台線)整備事業

・未達成の目標を達成するための改善策
・未解決の課題を解消するための改善策
・新たに発生した課題に対する改善策

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5ー③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4ー②)を再確認した。
-	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4ー③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5ー②)を再確認した。

添付様式5ー参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5－④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2－①、2－②に記載した全ての指標について記入して下さい。

・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2－①、2－②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標			単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
				年度		年度							予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	交通事故件数	件/年	10	H17	7	H23	確定	1	○	あり	—	→	平成26年6月	船橋東警察署に平成25年度の都市計画道路3・4・25号線(L＝約902m)における交通事故発生件数の聞き取り調査を行い、その値を持って確定値とする。	
							見込み			●	なし				
指標2	3駅乗客数	人/日	50,034	H16	51,000	H23	確定	54,565	○	あり	—	→	平成26年7月	新京成電鉄及び東葉高速鉄道に平成25年度の北習志野駅・船橋日大前駅・高根公団駅の旅客輸送実績の聞き取り調査を行い、その値を持って確定値とする。	
							見込み			●	なし				
指標3	放置自転車台数	台/日	200	H17	100	H23	確定	33	○	あり	—	→	平成25年2月	船橋市が年4回実施する放置自転車調査結果に基づき、平成24年4、7、10月、平成25年1月の高根公団駅周辺の放置自転車台数の集計を行い、その平均値を持って確定値とする。	
							見込み			●	なし				
指標4	船橋市坪井公民館来館者数	人/年	41,000	H20	64,000	H23	確定	68,742	○	あり	—	→	平成25年6月	社会教育課が集計した公民館の来館者数に基づき、坪井公民館の平成24年度利用者数を集計し、その値を持って確定値とする。	
							見込み			●	なし				
その他の数値指標1							確定					→			
							見込み								
その他の数値指標2							確定					→			
							見込み								
その他の数値指標3							確定					→			
							見込み								

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	3・4・25号線の整備において暫定的に歩行空間を確保したことにより、効果を早期に上げることができた。	今後の取組においても、暫定的な供用などにより、効果の早期発現に努める。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	都市計画道路3・4・25号線の整備において、事業開始段階における事業区間沿線の地権者及び権利者との意見交換により、事業への理解が深まった。	今後の取組においても、初期段階から住民等の関係者に対して適切な情報提供を行うことが望ましい。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	毎年度整理される「乗客数」を指標としたことで、供用開始した事業の効果をモニタリングすることができた。	モニタリングを実施することで、まちの変化を確認できるので、次期計画にも同様な指標を取り入れる。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後の都市再生整備計画事業の活用予定
本計画で実施した事業の効果をさらに高めるため、都市再生整備計画事業を活用した第二期計画を推進していく。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成23年11月16日～11月29日	平成23年11月16日～11月29日	担当課への持参、郵送、FAX、電子メール	都市計画部都市総務課(都市再生整備計画事業主管課)
広報掲載・回覧・個別配布	広報において、市のホームページと窓口での閲覧を周知	市報に掲載(11月15日号)	平成23年11月16日～11月29日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	市役所・フェイス・習志野台出張所において閲覧	平成23年11月16日～11月29日	平成23年11月16日～11月29日		

住民の意見	意見無し
-------	------

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	轟 朝幸 日本大学 理工学部 社会交通工学科 教授 寺内 義典 国土館大学 理工学部 理工学科 准教授 江守 央 日本大学 理工学部 社会交通工学科 助手	視察:平成24年2月2日 (7日、8日) 委員会:平成24年2月14日	都市計画部都市総務課 (都市再生整備計画事業 業主管課)	船橋市都市再生整備計画事業事後評価委員会 設置要綱	独自に設置
その他の委員	伊藤 将美 船橋市商業活性化協議会 委員 アイラブふなばし実行委員会 会長 宮村 榮俊 船橋市商業活性化協議会 監事 船橋市商店街連合会 副会長				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画

きたならしのえきしゅうへん
北習志野駅周辺地区
(第5回変更)

ちば千葉県 ふなばし船橋市

平成24年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	ふなばし 船橋市	地区名	きたならしの えきしやうへん ちく 北習志野駅周辺地区	面積	410 ha								
計画期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度	交付期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度

目標							
交通が便利で楽しくショッピングができる住宅地の創出 目標1: 歩行者・自転車利用者が安全かつ快適に利用できる施設の整備 目標2: 地域の人々が集うにぎわいと交流のある拠点の整備							
目標設定の根拠							
まちづくりの経緯及び現況 北習志野駅周辺地区は、本市の東部に位置し公団開発による集合住宅を中心に自然発生的な住宅地により形成され、駅周辺には商店街が形成されている。 また、北習志野駅には新京成線・東葉高速鉄道の鉄道2線が乗り入れており、1日の平均乗降客数は約76,000人のターミナル駅となっており、高根木戸駅・高根公団駅・船橋日大前駅の1日の平均乗降客数は、それぞれ、約8,600人、約15,000人、約11,000人であり都心への通勤圏として利便性の高い住宅地となっている。 当該周辺地区における主要な都市施設としては、北習志野駅東側に北習志野近隣公園、船橋アリーナ（総合体育館）、習志野台公民館、社会福祉会館等の公共公益施設が点在しており、日本大学や付属中・高校などの教育施設が立地し地域の持つ土地利用の特徴の一つとなっている。 また、駅へのアクセスや地区内外の交通の円滑な処理を図るため、3・4・25号線といった都市計画道路や北習志野駅駅前広場（面積約0.76ha）等が都市計画決定されており、船橋日大前駅周辺においては、都市再生機構による土地区画整理事業が行われている。 なか、北習志野駅周辺においては、市民と協働によるまち歩き等を実施しており、市民意向を反映した交通安全対策や道路等のバリアフリー化を推進する事業計画が策定されている。							
課題 北習志野駅周辺地区は、都心への通勤圏に位置し良好な住宅地が形成されている。各駅周辺には、商店街が形成され周辺居住者等に日々利用されており、駅利用者や商店街利用者等の快適性の向上や、安全性の確保、さらには、回遊性の向上が課題となっている。 そこで、以下の整備を一体的に行うことにより、交通が便利で楽しくショッピングができる住宅地の創出を図る。 駅へのアクセス向上と道路の整備、自転車専用道を設置、駅への接道道路の整備、公園を整備、公園を整備。							
将来ビジョン（中長期） ●平成12年3月、「生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし」をまちづくりの目標とした『船橋市総合計画』を策定し、当該地区は「北習志野駅周辺は、東葉高速鉄道と新京成線との乗り換えによって都心への直接乗り入れが可能という利便性を活かし、市民の豊かな生活を支えるにぎわいと交流のある地域商業拠点として整備を推進する。」こととしている。 ●平成13年2月、『船橋市都市計画マスタープラン』を策定し、当該地区は「バスや鉄道の乗り継ぎが便利な交通ターミナル機能をもち、楽しくショッピングができ、地域の人々が集う、にぎわいと交流のあるまちを目指す。」こととしている。							
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
					平成17年		平成23年
					平成16年		平成23年

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
・整備方針1 ・駅へアクセスする歩道等を整備し歩行者や自転車利用者の安全性や快適性を高める。		・《基幹事業 街路》3・4・25号線道路整備事業 ・《基幹事業 道路》市道00－020号線道路整備事業 ・《基幹事業 高質空間形成施設》街路樹整備事業 ・《関連事業》あんしん歩行エリア形成事業、交通バリアフリー道路整備事業
・整備方針2 ・既存の歩道橋、駅舎改札、商業ビル、商店街をデッキで接続し連続性のある歩行空間を創出し歩行者の安全性及び快適性を高める。 ・デッキ及び自由通路にエレベーター・エスカレーター等の歩行支援施設を設置し歩行者の快適性を高める。		・《基幹事業 高次都市施設・提案事業》北習志野駅ペDESTリアンデッキ設置事業 ・《関連事業》北習志野駅駅舎改修事業
・整備方針3 ・自転車等駐車を整備し駅前広場の歩道部に放置された自転車を減少させ快適な歩行空間を確保する。		・《基幹事業 地域生活基盤施設》高根公団駅自転車等駐車場設置事業
・整備方針4 ・地域の人々が集うにぎわいと交流のある拠点を整備し回遊性等を向上させる。		・《基幹事業 公園》松が丘4丁目みどり公園設置事業 ・《基幹事業 高質空間形成施設》北習志野近隣公園防犯対策事業 ・《基幹事業 地域生活基盤施設》(仮称)船橋市坪井公民館整備事業
その他 (仮称)船橋市坪井公民館整備事業については、地震等の災害時に地域の一時避難場所としての機能も併せ持つことから、防災機能を備えた施設とし、地域防災計画の避難所として位置付ける。		

交付対象事業費	0	交付限度額	0	国費率	#DIV/0!
---------	---	-------	---	-----	---------

[illegible]

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業														0
														0
														0
事業活用 調査														0
														0
														0
まちづくり活 動推進事業														0
														0
														0
合計										0	0	0	0	0
													合計(A+B)	

[illegible]